

農学部 バイオセラピー学科

セラピー

分野	区分	授 業 科 目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
		必 情報基礎(二)	2	L2				
	課題別科目	特別講義(一)	2					
		特別講義(二)	2					
		特別講義(三)	2					
		特別講義(四)	2					
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
	英語科目	必 英語(一)	2	F2				必
		必 英語(二)	2	L2				
		必 英語(三)	2		F2			
		必 英語(四)	2		L2			
		英語リーディング(一)	2	F2				
		英語リーディング(二)	2	L2				
		TOEIC英語(一)	2			F2		
		TOEIC英語(二)	2			L2		
		英会話(一)	2		F2			
		英会話(二)	2		L2			
		ビジネス英語	2				F2	
		科学英語	2				F2	
	学部共通	中国語(一)	2		F2			
		中国語(二)	2		L2			
		ドイツ語(一)	2		F2			
		ドイツ語(二)	2		L2			
		フランス語(一)	2		F2			
		フランス語(二)	2		L2			
		スペイン語(一)	2		F2			
		スペイン語(二)	2		L2			
	学部共通	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
	就職準備科目	キャリアデザイン	1		L1			
		インターンシップ	1			1		
		ビジネスマナー	1			F1		
	演習科目	必 共通演習	1	L1				
	学部共通	基礎生物	2	F2				
		基礎化学	2	F2				
		基礎数学	2	F2				
		文章表現	2	L2				

分野	区分	授 業 科 目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	学部専門	必 農学原論	2	F2				(農)
		環境科学	2			F2		理化
		生物化学	2		L2			理化
		動物福祉	2		L2			
		動植物園論	2			L2		理生
		健康福祉概論	2	F2				
		心理学概論	2	L2				
		知的財産論	2			F2		
		実学的生命活用	2			1		
		農業ビジネスデザイン(一)	2	F2				農
		農業ビジネスデザイン(二)	2	L2				農
		農業経営学	2			F2		農
	学際領域科目	植物生理生態学	2		L2			理生
		植物生長調節論	2			L2		理生
		生命科学	2			F2		理生
		分子生物学	2			L2		理生
		自然再生技術論	2			F2		理生
	人間関係科目	生命倫理	2		L2			理生
		科学と哲学	2			F2		
		芸術	2	F2				
		文化人類学	2		L2			
	社会関係科目	日本国憲法	2	L2				必
		経済入門	2	F2				
		現代社会の諸問題	2		L2			
		国際関係を考える	2		F2			
	自然関係科目	生物学	2	F2				(理生)
		化学	2	F2				(理化)
		数学	2	L2				
		物理学	2	L2				(理物)
		地学	2		L2			(理地)
	学部専門	必 バイオセラピー概論	2	F2				
		必 生物学実験	2		4			(理生)
		化学実験	2		L4			(理化)
		必 植物共生学	2	F2				理生
		必 人間植物関係学	2	L2				農
		必 野生動物学	2	F2				理生
		必 伴侶動物学	2	L2				理生
		必 動物介在療法学(一)	2	L2				(農)
		必 植物介在療法学(一)	2	F2				農
		ボランティア論	2	F2				
		生物保全学	2		L2			理生
		家畜生理・生体機構学	2		F2			農

分野	区分	授 業 科 目	単 位 数	週時間数				教 職
				一 年 次	二 年 次	三 年 次	四 年 次	
専 門 教 育 科 目	専門基礎科目	遺伝学	2	F2				理生
		人体生理学	2		L2			
		生物統計学	2			F2		理生
		生物環境関係法規	2			L2		
		動物行動学	2			L2		理生
		小児発達と生き物	2	L2				
		必 農業実習(一)	2	F4				農
		必 農業実習(二)	2	L4				農
		民族植物学	2			F2		
	植物共生分野	有用植物資源学	2		L2			理生
		植物系統・進化学	2		F2			理生
		植物形態・分類学	2			L2		理生
		社会園芸学	2		F2			農
		都市園芸学	2		L2			農
		野菜・草花の育て方	2			L2		農
		果樹・樹木の育て方	2		L2			農
		ハーブの育て方	2		F2			農
		野生動物生態学	2	L2				理生
		動物資源学	2			L2		
	動物共生分野 専門コア科目	動物形態・分類学	2			F2		理生
		伴侶動物ブリーディング論	2			F2		理生
		家畜管理学	2		F2			農
		家畜栄養学	2		F2			農
		植物介在療法学(二)	2		F2			農
		園芸植物活用法	2			F2		農
		動物介在療法学(二)	2			F2		農
		介在療法動物論	2		F2			農
		リハビリテーション医学概論	2		L2			
		社会福祉概論	2		L2			
	生物介在療法分野	療法の場の設計	2		F2			農
		生物介在療法評価法	2		L2			農
		看護・介護概論	2		F2			
		必 分野別基礎実験・実習	2		4			
		必 分野別実験・実習・演習	6			12		
		必 分野別応用実験・実習・演習	6				12	
		必 卒業論文	4				4	

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
55単位	12単位	57単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。

- 1 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目・植物介在療法特別プログラムで修得した単位のうち30単位
- 2 選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数のFは前学期配当科目,Lは後学期配当科目を表す。
- 2 学科基礎科目の人間関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 3 学科基礎科目の社会関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 4 学科基礎科目の自然関係科目は5科目中から2科目を選び必修とする。
 - 5 総合教育科目の初修外国語は在学中1ヶ国語のみ履修することができる。(複数の外国語の履修は認めない)
 - 6 学科専門－専門基礎科目の「農業実習(二)」は、一部を集中に開講する。
 - 7 学科専門－専門基礎科目の「生物学実験」と総合化科目の「分野別基礎実験・実習」は、隔週で通年開講する。

区分欄の必は必修科目,選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。
教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は、教員免許取得の主要科目のため、
教職必修科目とする。

植物介在療法特別カリキュラム

1. カリキュラム設置の目的

時代の急激な変化や諸々の社会問題は人々に大きなストレスや焦燥感を与え、現代社会では服薬や外科手術では完治が見込めない精神的な病やコミュニケーションに関する諸問題が増加しています。一方、生き物は人々の心を和ませ、安らぎや快感、活力と生気を与え、交流の場を創り出します。そこで、これまでの経済主導型の農学ではなく、人々の心身の健康の回復や維持・増進、癒しなどに新たな生き物の役割が注目され始めました。高齢者や障害者のほか、療法的支援を必要とする人々を対象とした生き物の療法的活用（生物介在療法）が全国各地の福祉施設や医療機関で注目され、その専門家の育成が早急に望まれています。バイオセラピー学科ではこのような社会背景から、チーム医療やチームケアの一員を担える十分な知識と技術を有する人材を社会へ輩出する目的で、生物介在療法分野の中でも特に園芸療法の知識と技術を習得できるカリキュラムを設置しています。

2. 内容

本カリキュラムは講義9科目（18単位）、実習3科目（10単位）で構成しており、これらの科目は、植物介在療法学研究室内の教員を中心とし、精神医学、小児医療、看護学、作業療法、精神保健福祉、高齢者福祉、社会福祉制度に関する高い専門知識を有する有資格者である医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、社会福祉士などの外部講師が連携し、時代の要望に合った授業内容を展開します。

園芸療法実習は、高齢者福祉施設、精神科医療施設、小児医療施設などの関連施設または学内の園芸療法ガーデン（通称 もったいないガーデン）で日本園芸療法学会認定専門認定登録園芸療法士から指導を受け、学生自らが対象者の方や社会問題と向き合います。実習で得た新たな知識や課題は実習後に行う報告会で整理して学び直し、新たな目的をもって次の実習へ臨みます。このように講義と実習を連動して実施することにより、柔軟な思考と的確な問題解決の力を育みます。

3. 開講科目

植物介在療法特別カリキュラム	授 業 科 目	単位数	配当学年	配当学期	授 業 科 目	単位数	配当学年	配当学期
	カウ ン セ リ ン グ 論	2	3	L	生物によるリハビリテーション	2	3	L
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	2	3	F	植 物 の ふ や し 方	2	3	F
	医 療 ・ 福 祉 政 策	2	3	F*	療 法 用 植 物 の 栽 培	2	3	L
	医 学 一 般	2	3	F*	園 芸 療 法 実 習(一)	2	3	T
	人間生物関係の精神医学	2	3	F*	園 芸 療 法 実 習(二)	2	3	T
	生き物による作業療法	2	3	F	園 芸 療 法 実 習(三)	6	4	T

※配当科目学期欄のFは前学期、Lは後学期、Tは通年科目を表します。*は夏期集中講義となります。

4. 本カリキュラムの特色

1) 対象

本カリキュラムは農学部バイオセラピー学科の学生が対象です。開講学年は3・4年次となります。他学部・他学科の学生は履修できません。

2) 履修方法についての説明会

植物介在療法特別カリキュラムの履修登録および単位修得についての説明会は、毎年度の4月頃に開催します。履修希望者は、1、2年次は任意ですが、3年次には必ず出席してガイダンスを受けると共に、所定の期日までに履修手続きを行ってください。なお、正当な理由で止むを得ず欠席する場合は、必ず事前に届け出ること。

3) 注意事項

本カリキュラムは医療・福祉・園芸療法分野に特化した専門講義と実習で構成していますので、原則として学科開講の基礎

科目（下記9科目）を2年次までに修得していることが条件となります。

【2年次までに修得しておくべき学科開講科目】

植物介在療法（一）、植物介在療法（二）、療法の場の設計、看護・介護概論、生物介在療法評価法、リハビリテーション医学概論、社会福祉概論、健康福祉概論、心理学概論

5. カリキュラム概要

1) 授業の開講について

各講義科目（関係科目）は、原則として各学期で週1時限（1コマ90分）開講の2単位です。「医療・福祉政策」「医学一般」「人間生物関係の精神医学」は夏期集中講義となります。

2) 実習について

園芸療法実習は、3年次の基礎実習と4年次の長期実習で構成しています。学生の将来の就職希望先や進路に応じて実習先を決定しますので、3年次のガイダンスで必ず希望調書を提出してください。また、4年次の長期実習を受講するためには本カリキュラムの3年次開講科目（実習も含む）をすべて修得していることが条件となります。実習前に実施する個別面談や実習オリエンテーションに不参加の場合は、受講できない場合があります。さらに、講義科目の成績によっては参加が認められない場合があります。

（1）内容

①短期実習（3年次）

園芸療法実習（一）：医療・福祉施設での短期実習および園芸療法基礎実習

園芸療法実習（二）：医療・福祉施設での短期実習および評価実習

②長期実習（4年次）

園芸療法実習（三）：医療・福祉施設での長期実習

（2）実習にかかる費用について

園芸療法実習は原則として学外での実施となりますので、実習先によって学生の個人負担が異なります。

①交通費

3年次の学外実習は原則、東京都内または神奈川県内で実施します。実習先までの交通費は学生の個人負担となります。

②実習指導料（委託管理費）について

園芸療法実習（三）の長期実習は、実習先に支払う実習指導料（委託管理費）が必要となります（1日400円×30日）。

また、長期実習先が遠隔地の場合は宿舍が利用できますが、利用料は実習施設によって異なります。

3) 修得単位数について

本カリキュラムによる修得単位は、他学科・他学部聴講により修得した単位との合計修得単位のうち30単位までを選択科目として卒業要件単位に加えることができます。

6. 履修上の注意事項

バイオセラピー学科は、日本園芸療法学会認定専門教育機関として登録しており、「認定登録園芸療法士」と「専門認定登録園芸療法士」の受験に必要な座学および実習科目を整備しています。バイオセラピー学科と本カリキュラムで所定の単位を修了し、日本園芸療法学会が定める要件を満たすことで卒業年次に「認定登録園芸療法士」の受験が可能です。「認定登録園芸療法士」の受験資格には、学会が定める5分野22単位（園芸療法分野4単位、園芸分野10単位、医療分野4単位、福祉分野2単位、マネジメント分野2単位）と園芸療法実習10単位の修得が必要です。該当科目は本カリキュラムの履修条件に定める1、2年次の学科開講科目（前ページ3の履修条件と注意事項の項参照）と本カリキュラムの開講科目です。

「専門認定登録園芸療法士」の受験資格には、学会が定める5分野78単位（園芸療法分野10単位、園芸分野40単位、医療分野20単位、福祉分野4単位、マネジメント分野4単位）と園芸療法実習10単位の修得が必要なうえ、卒業後2,000時間の実務経験を経る必要があります。在学中の4年間の学習計画を十分に立てておく必要があります。

ただし、本資格認定基準は日本園芸療法学会によって変更になる可能性があります。